

建災防宮城県支部からのお知らせ

令和元年5月1日

平成30年労働災害の発生状況

宮城労働局発表より

死傷災害の状況（建設業関係）

業種	年	平成28年 全期		平成29年 全期		平成29年 同時期速報		平成30年 1~12月速報		前年同月比較			
		死傷	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷		死亡	
										増減数	増減率 %	増減数	増減率 %
全産業計		2467	16	2385	17	2385	17	2589	23	204	8.6	6	35.3
建設業		432	5	350	5	350	5	336	7	-14	-4.0	2	40.0
土木工事業		149	4	123	2	123	2	123	2	0	0	0	0
建築工事業		239	1	179	3	179	3	156	3	-23	-12.8	0	0
鉄骨・コンクリート造 家屋建築工事業		60	1	48	2	48	2	43	2	-5	-10.4	0	0
木造家屋建築工事業		120	0	86	0	86	0	54	0	-32	-37.2	0	0
建築設備工事業。その 他の建築工事業		59	0	45	1	45	1	59	1	14	31.1	0	0
その他の建設工事		44	0	48	0	48	0	57	2	9	18.8	2	

災害件数は労働者死傷病報告（休業4日以上）により計上しています。死亡件数は内数となっています。

件数は、平成31年3月末速報値による。平成30年の災害件数は厚生労働省の全国統計発表後確定となります。

赤字は増加

平成30年の宮城県内建設業の労働災害は、休業4日以上死傷災害で死亡7件を含む336件となりました。死亡件数で2件増加、死傷全体では14件の減少となりました。

地域別労働災害の発生状況	休業4日以上				○は死亡件数	
	監督署別	仙台	石巻	古川	大河原	瀬峰
平成28年	198①	105②	56①	32①	41	432⑤
平成29年	154④	107①	30	20	39	350⑤
平成30年	169②	80①	34③	24	29①	336⑦

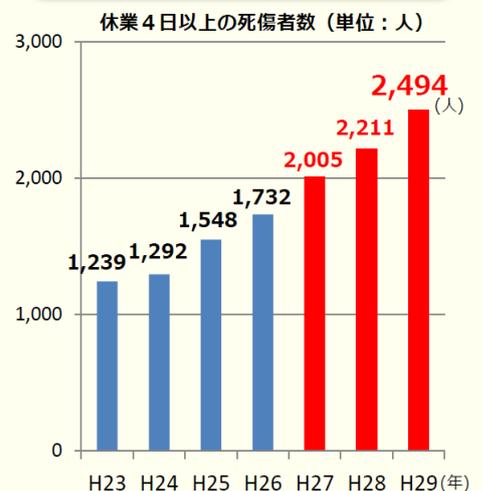
平成30年は速報値

外国人労働者の安全衛生対策について

出入国管理及び難民認定法等の改正により、4月1日より、在留資格「特定技能」が創設され、建設業でも、新たな外国人材の受入れが開始される所です。外国人労働者については、一般に、日本語や我が国の労働慣行に習熟していないことから、一層の災害防止、健康確保対策が求められます。下記点検項目に留意して安全管理体制の整備をお願いします。

安全衛生教育の実施	安全衛生教育を実施していますか。 (雇入れ時又は作業内容を変更した時など)
作業手順の理解	母国語など外国人労働者にわかる言語で説明するなど、作業手順を理解させていますか。
指示・合図の理解	労働災害防止のための指示等を理解できるように、必要な日本語や基本的な合図を習得させていますか。
標識・掲示の理解	労働災害防止のための標識、掲示等について、図解等の工夫でわかりやすくしていますか。
免許・資格の所持	免許を受けたり、技能講習を修了することが必要な業務に、無資格のままに従事させていませんか。

外国人労働者の労働災害発生状況の推移



資料出所：厚生労働省「労働者死傷病報告」



早めの対策！熱中症予防

「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」

キャンペーン期間「5月1日から 9月30日（重点月間7月）まで」

死傷者数、死亡者 前年の2倍！

平成30年の職場における熱中症の発

生状況は、死傷者数は1,128(建設業225)人、死亡者数は29人(建設業10)人となっており、前年と比較して、全体では死傷者数、死亡者数ともに2倍を上回る結果になっています。

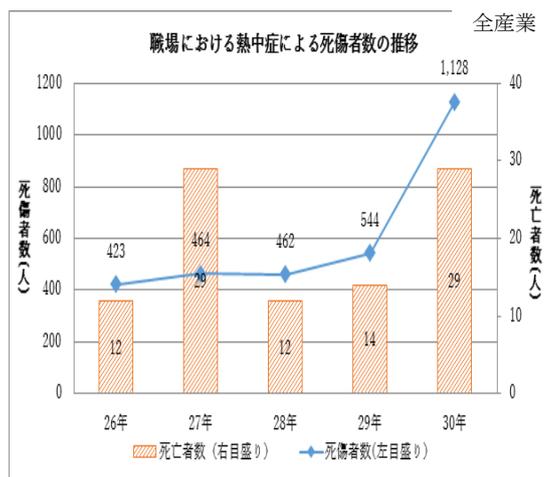
早めの準備で、暑い夏を乗り切りましょう！

(準備すべき事項)

1. WBGT 値（暑さ指数）測定器の準備を！
2. 作業中止基準、休憩時間の確保、熱への順化期間を設けること等作業計画を策定しましょう
3. 簡易な屋根の設置通風又冷房備の設置、ミストシャワー等による散水を検討しましょう
4. 労働者に、熱中症の症状、対処方法、予防法等の教育を行いましょう。また、当日の睡眠不足、体調不良等が熱中症の発症に影響を与えることから、健康KY等を取り入れ、健康管理に努めましょう！
5. 作業場所の近くに冷房を備えた休憩場所又は日陰等の涼しい休憩場所の確保を検討しましょう
6. 透湿性及び通気性の良い服装の準備を！直射日光下における作業が予定されている場合には、通気性の良い帽子、ヘルメット等の準備も！
7. 労働者の体調不良時に搬送を行う病院の把握や緊急時の対応等緊急事態の措置の確認を行い、労働者に周知しましょう

詳細は建災防

「建設の安全」5月号を参照してください



熱中症教育には、厚生労働省HPの「STOP！熱中症 クールキャンペーン」サイトのリーフレット等及び環境省熱中症予防情報サイトに公表されている熱中症に係る動画コンテンツ及び救急措置等の要点が記載された携帯カード「熱中症予防カード」などが活用できます。

特報

フルハーネス安全帯ワンポイントレッスンを開始！高所作業車運転技能講習

安衛則の改正により、高所作業車の運転でも、原則としてフルハーネス安全帯の使用が義務付けられました。本講習で当該安全帯の正しい使用方法について実技を含めワンポイントレッスンをを行います。

建災防宮城県支部 HP



建設業労働災害防止協会 宮城県支部

〒980-0824 仙台市青葉区支倉町2-48 宮城県建設産業会館5階

電話 022-224-1797 Fax 022-265-5604